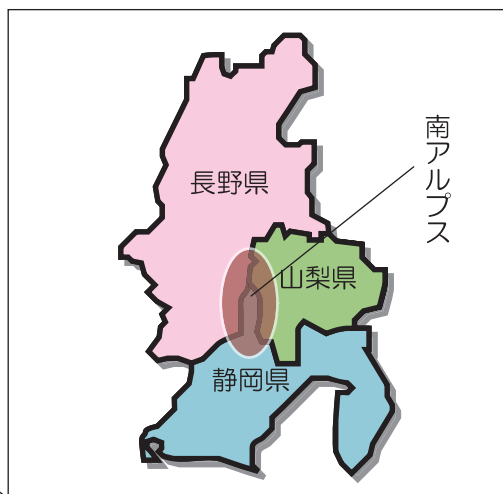
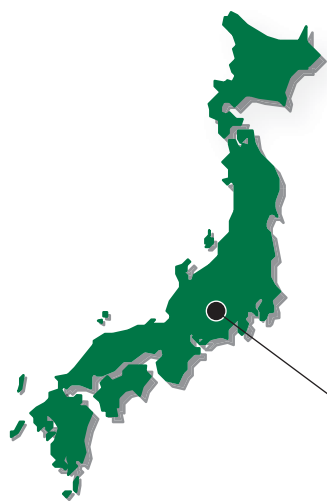




南アルプスの概要

本州中央部に位置する南端の山岳地帯



南アルプスは、日本列島の中央に位置し、静岡県、山梨県、長野県の3県にまたがる我が国を代表する山岳地帯です。

本州中央部には、日本アルプスと総称される大山脈があり、北から北アルプス（飛騨山脈）、中央アルプス（木曾山脈）、南アルプス（赤石山脈）と呼ばれる地域に大別されます。

このうち、南アルプスは、甲斐駒・鳳凰山系、白根山系、赤石山系の3つの山系からなり、重量感あふれる山岳風景を形成しています。

3,000m級の峰が連なる山脈



大聖寺平から見た荒川前岳



お花畑

南アルプスは、本邦第2の高峰北岳を始め、仙丈ヶ岳、間ノ岳、塩見岳、荒川岳、赤石岳など3,000m級の山々を13座有しています。

北アルプスや中央アルプスは、尖峰をもつ古い山々であり、広大なお花畑が形成されています。一方、南アルプスは、稜線に準平原と呼ばれる平坦な地形が広がり、数多くの特産種を含むお花畑、森林限界が高く鬱蒼とした森林植生が特徴といえます。